

2022年5月20日
東日本旅客鉄道株式会社
横浜支社

南武線 向河原駅前踏切の「賢い踏切」導入について

JR東日本では、踏切障害事故を着実に減少させる取り組みとして、踏切の統廃合をはじめ、360度の視認性を確保できる全方位警報灯などの設備改良、警察署等と連携した「全国交通安全運動」や「踏切事故0（ゼロ）運動」などを継続して行ってきました。

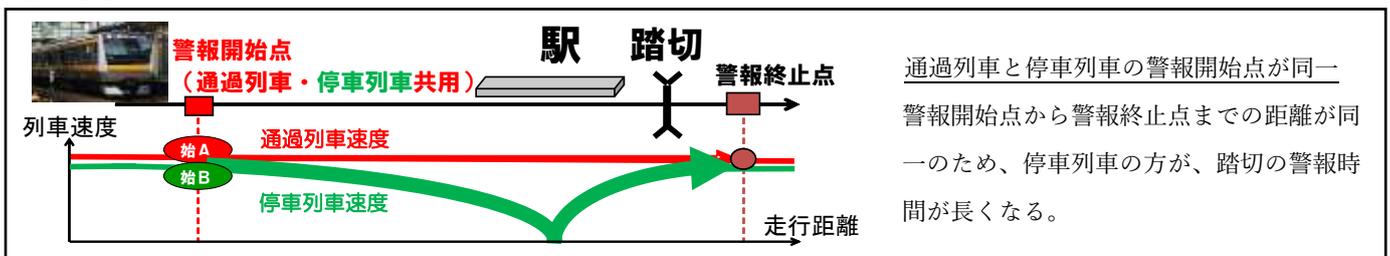
このたび、南武線 向河原駅構内にある「向河原駅前踏切」（川崎市中原区下沼部 1751）の下り列車に対する「踏切警報時間制御装置」（以下、「賢い踏切」）の導入工事を開始し、踏切警報時間の短縮を図ります。

1. 「賢い踏切」について

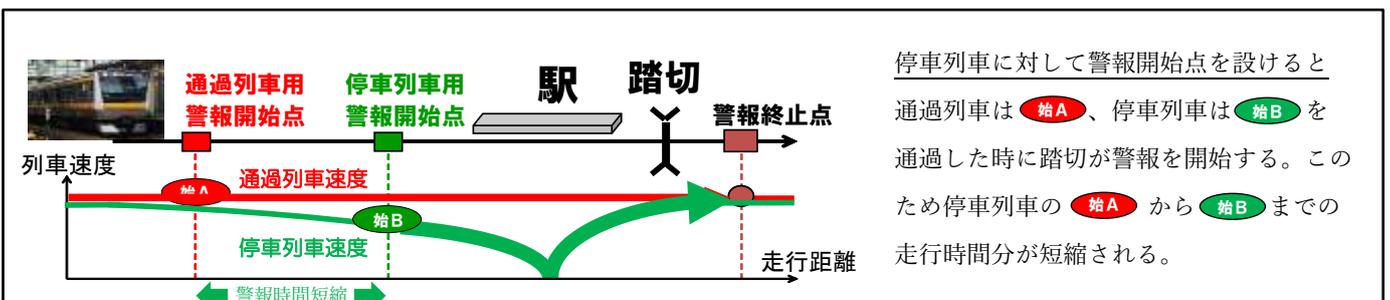
駅近傍にある従来の踏切は、通過列車と停車列車が警報開始点を共用しているため、停車列車に対する踏切警報時間が駅停車及び停車に要する減速の时分により通過列車の踏切警報時間より長くなってしまいます。（図①）。

「賢い踏切」は、停車列車に対して警報開始点を新たに設けることで、通過列車と停車列車を判別し、停車列車に対する踏切警報時間を短縮することが出来ます（図②）。

【図①】導入前



【図②】導入後



※警報開始点とは、列車の通過によって踏切を鳴らし始める地点をさします。

2. 向河原駅前踏切の「賢い踏切」の導入効果について

日々の運行状況や列車の速度等により変動しますが、朝の通勤通学時間帯 1 時間当たりで数分程度の踏切警報時間の短縮を見込んでいます。

3. 導入時期

2022 年 12 月頃（予定）

（工事の進捗により前後する可能性があります。）

